

# 大船渡市

## 第7号

平成19年2月20日発行



# 消防団だより

### 主な記事内容

- 平成19年大船渡市消防出初式 .....P2
- 消防協力者表彰受賞インタビュー .....P3
- 瑞宝単光章受章インタビュー .....P4
- 立根小学校防火作品 .....P6・P7



立根小学校  
やめるんだ  
カゲでこそこそ

五年生  
氏名 斎藤彩加

火遊びを

立根小学校  
パパ早く!  
赤ちゃんライター  
いじてる

四年生  
氏名 藤野 萌佳

5年生  
斎藤彩加 さん

立根小学校 2年生 ひらた やすき くん

4年生  
藤野萌佳 さん

## 『消さないで あなたの心の 注意の火。』

2006年度全国統一標語

編集・発行：大船渡市消防団（大船渡市盛町字木町1-1 ☎0192-27-2119）

# 防火・防災への心構え新たに!!

厳しい冷え込みの中、平成19年大船渡市消防出初式が1月9日（日）に盛町商店街と市民体育館を会場として開催されました。消防職団員や婦人防火クラブ員が一堂に集結し、一致団結して当市の防災に取り組む決意を新たにしました。



盛町商店街ではラッパ隊を先頭に消防職員60人、消防団員927人、婦人防火クラブ員118人と消防車両53台が分列行進を行い、甘竹市長の観閲を受けました。



無火災を達成した分団に甘竹市長より表彰状及び竿頭授が授与されました。(写真：第1分団)



紀室助役の音頭による「火の用心」三唱にあわせて纏（まとい）振りも行われました。



小雨に見舞われる中、勇壮に馬簾（ばれん）をなびかせながら一糸乱れぬ纏（まとい）を振り、沿道の皆さんに“火消し魂”を披露しました。



出初式の起こりは、江戸時代の万治2年（1659年）1月4日、上野東照宮前で「出初の式」が行われたのが始まりといわれています。これは、その前の年にできた「定火消」（じょうびけし）の顔見世の儀式のようなものでした。享保4年（1719年）に町火消（まちびけし）ができると、定火消にならって「初出」と呼ばれる出初式を行うようになりました。これが現在各地で行われている消防出初式に受け継がれています。

ちよつと豆知識!

# 消防協力者表彰受賞インタビュー

平成十九年大船渡市消防出初式において、立根町の鈴木寛之さん、松坂孝子さん、尾田直美さんの三名に消防協力者として紀室消防団長より感謝状を贈呈いたしました。表彰式に出席された松坂孝子さん・尾田直美さんに受賞しての感想、消防団のイメージなどをインタビューしました。

—今回この消防協力者表彰受賞の連絡を受けた時の感想をお願いします。

松坂：「どうして私が…。」と大変驚きました。

尾田：連絡を頂いた時にはびっくりしました。

—火災を発見した時は、どんな気持ちでしたか？

松坂：「早く消さなければ、まずは水だ！」と思いました。

尾田：無我夢中で気がついた時にはバケツをにぎっていました。

—普段消防団に対し、どのようなイメージを持っていますか？

松坂・尾田：災害活動だけでなく夜警や火防点検などいつも地域に貢献していただき大変感謝しています。夜警の時、消防車から聞こえるカンカンには安心を感じ

ます。これからも、私達市民のためによろしくお願いします。

—大勢の消防団員を前にしての表彰式でしたがどのように感じましたか？

松坂：かなり緊張して膝がガクガクしていました。

いつも心に  
火の用心



尾田：頭の中は真っ白でした。

—今回、消防出初式に出席してみたの感想はどうでしたか？

松坂・尾田：消防団としての組織を目の当たりにし、団結の深さを感じました。本当に心強く思います。

—日頃、家庭では家事などで火を使用する機会が多いと思いますが、火災予防について普段気を付けていることはありますか？

松坂：消火器をレンジのそばに置いたりしています。

尾田：火のそばには燃えやすい物は置かないように気をつけています。

—最後に、今後大船渡市消防団に望むことはありますか？

松坂・尾田：普段仕事をしながらの活動は大変だとは思いますが、これからも地域のために活動していただければありがたいです。

(担当 団本部 部長 吉野 清)



## 消防協力者表彰について

平成18年6月7日に大船渡市立根町久保地内で発生した建物火災に際し、鈴木寛之さん、松坂孝子さん、尾田直美さんの3名は、水道ホースや水バケツを使用し燃えている薪に水をかけ、適切な初期消火活動を行い、火災の延焼拡大を防いだことに対し表彰されたものです。



感謝状を贈呈される松坂孝子さん(右)と尾田直美さん(左)

# 瑞宝単光章受章インタビュー

平成十八年秋の叙勲伝達式が十一月八日（水）、東京都港区虎ノ門にある日本消防会館内の「ニッショウホール」で挙行されました。大船渡市消防団からは、顧問（元団長）である中村中氏が瑞宝単光章を受章されました。受章しての感想、現役当時の消防団活動の様子、これからの消防団に望むこと伺いました。

瑞宝単光章



—受章しての感想をお願いします。

消防団を退団して十二年が経ち、叙勲受章の候補者に私の名前が挙がっている

ことを聞いたときには大変驚きました。受章にあたり、市長さんをはじめ多数の方がたのご厚情による賜物と深く感謝を申し上げます。

今回の受章は、私の消防団員生活が先輩や周りの人たちの協力と職場の理解のおかげであり、そして何よりも地域のためになれば、という思いで三十八年間、勤めてきたためだと思っております。

—消防団に入団したきっかけを教えてください。

私は昭和三十一年に学校を卒業し、ぶらぶらしていた時に自宅に半纏が届いていたので屯所に行ってみたら、夜警要員として入団することになりました。

—入団した当時の様子を教えてください。

当時は火災が多く、私はどういうわけかすぐ筒先に行ってしまう、先輩に「何もわからない中途半端な者が筒先に行つてないで、ホースでも担げ。」と怒られたこともあり、筒先で火を消すことだけが消防ではないということを知りました。

また、先輩達が屯所で酒を飲むとあるだけ飲んでしまい、泥酔状態で自



## 消防団員募集中!



録の達成が控えているという時に、放火による火災が発生し大変悔しい思いをしたことを思い出します。—これからの消防団に対して望むことはありますか。各分団と部の状況をみると人的、財政的に大変なところもあるので、組織の見直しも必要なのではないでしょうか。消防団に入団したからには、地域を守るといふ意気込みを持ち、地域住民に貢献できるように活動してください。そして、消防団を愛し、家庭を愛してください。

—消防活動で忘れられないことはありますか。

忘れられないのが、昭和三十五年五月に来襲したチリ地震津波です。被害の大きさを目のあたりにし、愕然としたことを記憶しています。私の家も倒壊したため、何日か経つてから消防の活動に参加しました。職場の開発鉄道赤崎線も被害を受けためその対応もあり、消防も会社も地域も大変な状況でした。団長の時には、あと二、三日で無火災表彰の記



\* 中村中さん \*

昭和31年に入団し、平成6年に団長として退団するまで、チリ地震津波や大規模山林火災等で積極的に活動し、団員育成にも尽力された。(74歳)

—当時の様子を懐かしく振り返りながら話をしてくれた中村さん。これからも健康に留意されながら元気に活躍して欲しいと思います。(担当 団本部 部長 佐々木 義幸)

## 地区別・年別火災発生状況

	H14	H15	H16	H17	H18
盛	2	1	1	0	0
大船渡	1	6	3	0	1
末崎	2	1	2	1	1
赤崎	2	3	3	1	0
猪川	3	1	0	0	1
立根	2	0	0	1	1
日頃市	1	0	0	1	0
綾里	1	2	0	0	1
越喜来	0	1	3	3	3
吉浜	4	1	2	2	0
合計	18	16	14	9	8

平成十八年中における大船渡市の火災件数が旧三陸町を含め過去最少の八件でした。全国的に火災は減少傾向にありますが、平成十六年度から強化された野外焼却の原則禁止が火災抑止に好影響を与えているものと考えられます。また、春・秋の火災予防運動に合作して消防団員と婦人防火クラブ員が全世帯対象の火防点検を実施し、住民の視点で火災予防についてアドバイスを送っています。これからも市民一人ひとりが防火への意識を持ち、火災予防に取り組んでいきたいと思います。



**火災件数、合併後過去最少！**

## 火災発生時の初期消火器具

(平成17年 岩手県)

初期消火器具	件数	火災鎮圧効果のあった件数
簡易消火器具 (水バケツ等)	28	6
消火器	121	47
消火設備類	5	2
水道、浴槽等の水をかけた	93	35
寝具、衣類をかけた	10	2
もみ消した	3	0
その他	28	8
初期消火なし	171	
合計	459	100

「火災は最初の一分間」と言われるほど、初期消火は大切なことです。岩手県における平成十七年中の火災で、初期消火が行われた火災は全火災の約63%であり、そのうち火災鎮圧に効果があった初期消火は約22%となっています。平成十八年の大船渡市内の火災では、三件が初期消火に成功しており、約38%の成功率は県平均を上回っています。



## 住宅防火 いのちを守る 七つのポイント



- 【三つの習慣】
- 寝たばこは絶対にやめる。
  - ストーブは燃えやすいものから離れた位置で使用する。
  - ガスコンロなどのそばを離れるときは必ず火を消す。
- 【四つの対策】
- 逃げ遅れを防ぐために住宅用火災警報器等を設置する。
  - 寝具や衣類からの火災を防ぐために防炎製品を使用する。
  - 火災を小さいうちに消すために住宅用消火器等を設置する。
  - お年寄りや身体の不自由な人を守るために隣近所の協力体制をつくる。

## 住宅用火災警報器を 設置しましょう

消防法及び大船渡地区消防組合火災予防条例の改正により、新築住宅は平成十八年六月一日から、既存住宅は平成二十三年五月三十一日までに住宅用火災警報器の設置が義務づけられました。火災を早期に発見し、迅速に避難できるよう、住宅用火災警報器を設置しましょう。



# 立根小学校防火作品

## 防火標語

今年度は立根小学校の児童たちが防火写生及び防火標語を作成しました。防火写生では救急車、化学車及びはしご車の中から描きたい車を選んでいただきました。数多くの作品の中から一部を紹介いたします。



化学車とモデルの消防職員を真剣に写生している児童たち。

立根小学校 火をけそう ちまちどのゆたんか 火事のもつ 五年生 氏名 桜田 麻美	立根小学校 ねるときは あなたいつも 見張役。 五年生 氏名 小山 凌	立根小学校 たばこの火 ねる時ちんと けしましよう 四年生 氏名 清水 友貴	立根小学校 ながでんわ おなべの火は どうしたの 四年生 氏名 菅生 美輝	立根小学校 料理中、はなれる時は火を消して 四年生 氏名 佐藤 美空	立根小学校 サ花火をするとき 水、用意。 四年生 氏名 大澤 偉
立根小学校 火の用心 いつも心に この三葉 六年生 氏名 佐藤 麗美	立根小学校 小さな火 時間がたつと 大きな火 六年生 氏名 佐川 智美	立根小学校 火の元を 確認してから 出かけよう 六年生 氏名 小西 直輝	立根小学校 つけた火は 自分の責任 最後まで 六年生 氏名 中村 亮太	立根小学校 火の原因 火遊び油断 弱心 六年生 氏名 佐藤 花乃	立根小学校 ガスコンロ 便利な道具が まねく事故 五年生 氏名 國本 拓也

## 防火写生



1年生 さとう ちなつ さん



1年生 よしの けいくん



1年生 にいぬま たくくん



2年生 にいぬま ひろこ さん



1年生 ささき ちえ さん



1年生 こんの みずき さん



2年生 こんの ごうくん



2年生 たかはし けんごく さん



# ◆◆◆◆◆ ニューフェイス紹介 ◆◆◆◆◆



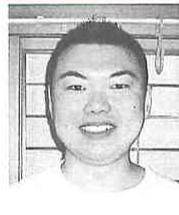
氏名：及川 貴士 所属：第3分団第2部 年齢：18歳 特技：スポーツ  
 趣味：身体を動かすこと 好きな女性のタイプ：かわいい人・性格のいい人  
 入団したきっかけ：勧誘されたため。  
 消防団に対する希望：仕事のため出られない場合がありますが許してください。  
 先輩から一言：楽しく、厳しい消防生活をがんばって続けてください。



氏名：後藤 利喜 所属：第4分団第4部 年齢：23歳 特技：運動  
 趣味：音楽鑑賞 好きな女性のタイプ：短髪  
 入団したきっかけ：誘いを受けたため  
 消防団に対する希望：頑張りましょう。  
 先輩から一言：大変なときもありますが楽しんでがんばろう。



氏名：小野寺博幸 所属：第6分団第1部 年齢：20歳 特技：ラグビー  
 趣味：買い物、スポーツ観戦 好きな女性のタイプ：穏やかな人  
 入団したきっかけ：叔父の勧め。  
 消防団に対する希望：新人なのでよろしくお願いします。  
 先輩から一言：できるだけ参加して地域の役に立ってほしいです。



氏名：鈴木 英徳 所属：第8分団第2部 年齢：21歳 特技：特になし  
 趣味：買い物 好きな女性のタイプ：嫁  
 入団したきっかけ：先輩からの誘い  
 消防団に対する希望：わからないことだらけですがよろしくお願いします。  
 先輩から一言：これから始まる消防生活、難しく考えずいっしょにがんばろう。



氏名：舟野 哲仁 所属：9分団第3部 年齢：18歳 趣味：ソフトテニス  
 趣味：野球 好きな女性のタイプ：おもしろい人  
 入団したきっかけ：地域に貢献するため  
 消防団に対する希望：厳しく楽しい消防活動をしたい。  
 先輩から一言：いっしょに地域住民の生命と財産を守るためにガンバロー！

※分団の若い順に紹介しました。



3年生 きんの あやめ さん



3年生 おぎの しょうやく くん



3年生 かわうち もとき くん



3年生 たかはし りこ さん



3年生 おかざき みのり さん



2年生 すが はるな さん

# 消防団ではあなたの力が必要です！

消防団は、「自分のまちは、自分で守る。」という郷土愛護の精神に基づき活動し、地域における消防防災のリーダーとして住民の安全と安心を守るという重要な役割を担っています。

しかし、消防団が抱える課題として、住民の連帯意識の希薄化や、若い人たちの流出に伴い消防団員数は減少傾向にあり、高齢化も進み活動能力の低下が問題となっています。また、企業や事業所等に勤務している「サラリーマン団員」の割合が全団員の約80%もあり、昼間における消防力の低下が懸念されています。

充実した生活を送りたい方、これから何かを始めたいと考えている方、地域に貢献したい方の入団をお待ちしています。消防団ではあなたの力が必要です。

## ◎消防団入団資格

年齢18歳以上で、市内に居住または勤務している人なら男性でも女性でも入団できます。

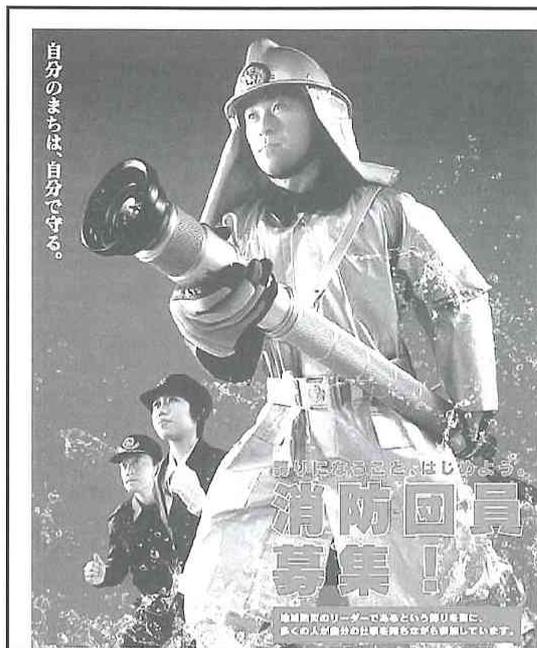
## ◎消防団の待遇

消防本部等の職員と同じく、権限と責任を有する非常勤の地方公務員です。普段は仕事をもちながらボランティア精神によって消防団に入団しています。

年額報酬や退職報償金、出動手当が支給され、公務災害補償等が受けられます。

## ◎主な活動

火災発生時における消火活動、地震や風水害などの自然災害時の警戒巡視や救出活動を行います。また、平常時には、住宅への防火指導、特別警戒、広報活動などにも従事しています。



総務省消防庁の消防団員募集ポスターより。モデルは筋肉番付でおなじみの消防職員、竹田敏浩さん



第6分団第3部の団員が火災予防啓発運動の一環として10マイルロードレースに出場しました。結果は…。参加することに意義があるので。（写真中央：班長 大畑力さん）



編集部（団本部）

## 編集部より

暖冬で春の到来が早まる予感がする今日このごろです。春は最も火災が発生する季節です。火の取扱いは十分気をつけましょう。

紙面にも掲載しましたが、火災発生時に初期消火を行ったことにより延焼拡大を防いだ事例がありました。火災だけでなくこれから発生が予想される地震や津波のためにも隣近所の協力体制を築いていきましょう。

「消防団だより」も第七号になりました。これからも内容の充実した楽しい広報誌作りを目指していきますので、ご意見ご要望などがありましたら、団本部までご一報いただければ幸いです。